

桐 和

KIRIBIYORI

施主・現場目線で考えた
新しいリノベーションの提案

桐床

KIRIYUKA

自
然
保
温

桐は、昔から人々の生活に役立ってきました。

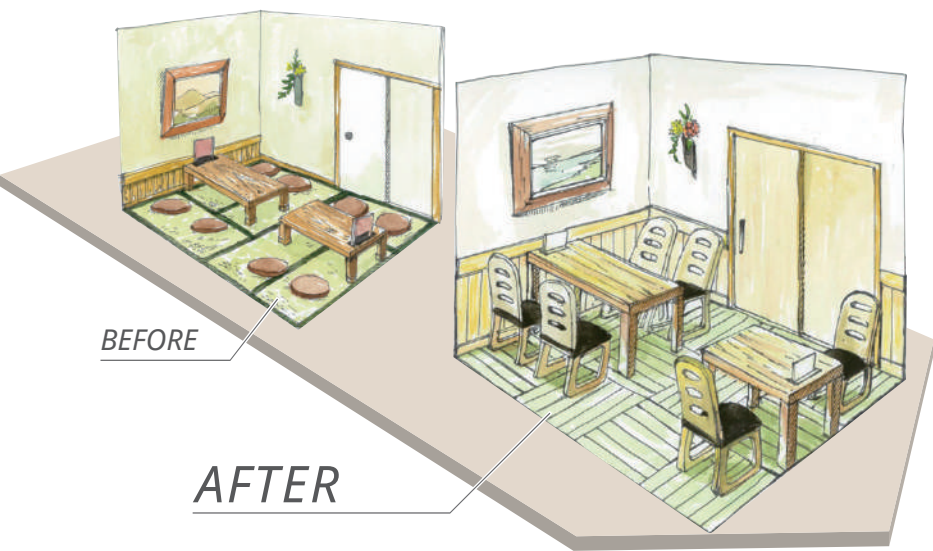
『温かさ』『柔らかさ』『防虫性』『調湿性』など生活に役立つ機能があり、素材ならではの癒しの空間をもたらしてくれます。

それを現代の生活スタイルにも合うように、カラーも選べるカタチに仕上げました。

和モダン空間へ

『桐床』を
そのまま敷き詰めるだけの
フルオーダー設計





シーンに合わせて 生活空間を変えられる

桐床は、直置きできるようにクッションがついた四角形のパネルです。

畳の張替えと同じように設置をするため、フローリングの施工より早く仕上げる事が可能。四角形のパネルですので直線のシンプルな柄から市松柄など様々なレイアウトが選べ、こだわりのある空間を創り出すことができます。

桐の特長

温かさ

一般的な木材とは異なり細かい空気層が密集して出来ていて、その空気層が断熱材の働きをします。そのため熱伝導率が低く体温を直に返すため、触れた時に温かく感じられます。



ほどよい 柔らかさ

桐は日本で一番柔らかい木材です。もし転んでも桐が衝撃を吸収してくれるため、お子様やご年配の方も安心して過ごせます。



調湿性

桐は多孔質であり、調湿機能に優れています。昔から、桐のタンスは着物の保管にも最良とされ、大事なものの保存には桐が用いられてきました。



高い 復元性

その柔らかさゆえに凹みやすい桐ですが、それを補う高い復元力をもっています。水で濡らしアイロンをかければ、凹みもほとんど分からなくなります。



防虫性

桐に含まれるタンニンなどの成分を虫は嫌がります。虫がつきにくいので、昔からお米などの保管に使われてきました。



良い素材 のみ使用

私たちは『柃目』の材料しか使いません。柃目は一本の木からとれる量が少なく高価ですが、収縮や反りが少ない優れた材料です。長年使い続けることを考え、柃目の中でも良質なものを使用しております。

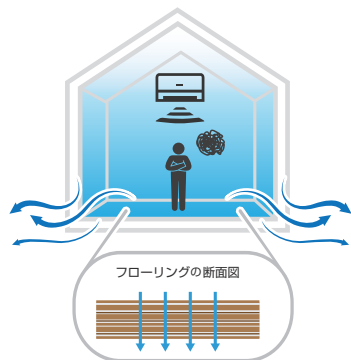


桐の木目を
活かす **12色**

桐の断熱性能

フローリング

- 冬 熱を逃がしてしまい温まりにくい
- 夏 冷気が逃げやすく涼しくなりにくい



桐

- 冬 熱を逃がさないで温かい
- 夏 冷気が逃げにくいので涼しい



塗装後の防汚性

試験条件：滴下 24 時間被覆後に水ふき取り ◎異常なし ○若干痕跡 △痕跡

	桐床 使用塗料	一般品 自然塗料
醤油	◎	○
食塩水	◎	△
コーヒー ^{※1}	○	○
マジック ^{※1}	○	○
クレヨン	◎	◎
口紅	○	△
熱湯 ^{※2}	◎	△

※1 は、エタノールにて拭き取り

※2 は、沸騰水滴下後ピーカーに熱湯を入れ 15 分間放置後に拭き取り

